

第 2 号議案

令和 5 年度 社会福祉法人丹穂会 事業計画

1 運営方針

新型コロナウイルス感染症蔓延のため、ここ数年の施設運営において家族や地域社会との繋がりが希薄化することが大きな問題になっていました。今年 5 月に新型コロナウイルスが感染症予防法の 5 類に移行されることから、入所利用者の面会制限の撤廃や自由な外出、また地域の方々への施設開放など、感染防止対策を講じながら、可能な限り本来の「開かれた」施設運営に戻って行きたいと考えます。利用者を取り巻く家族及び地域が抱える福祉ニーズにも目を向け、要援護高齢者や障害を持つ方が、地域社会の一員として生活できる「共生社会」を目指し、地域福祉のサービス拠点として信頼され、利用者及びその家族が安心して生活できる福祉サービスの提供を目指します。

また、新たな感染症の流行や大規模自然災害など、今後も多くの危機的な状況が想定されます。感染防止対策・防災対策の再確認と、定期的な教育・訓練を実施し、不測の事態が生じてもサービス提供を継続できるよう体制強化に努めます。

① 障害者支援施設「緑ヶ丘学園」

- ・利用者個々の障害の程度に応じ、その能力を最大限引出せるよう、適切な個別支援計画を作成、適切な支援の実践に努める。
- ・利用者の加齢に伴う心身機能の低下や疾病予防、異常の早期発見に努め、健康で自立した生活の維持に努める。
- ・利用者一人ひとりが社会の一員として生活していることを念頭に置き、地域関連機関と連携し、利用者の社会参加の促進に努める。

② 特別養護老人ホーム「福寿荘」

- ・利用者一人ひとりの意思・人格を尊重し、安心・安楽な生活の提供を目指す。
- ・利用者の心身機能に応じ、可能な限り自立した生活ができるように、きめ細やかな介護ケアの提供に努める。
- ・地域の高齢者介護のセーフティーネットとして、関連機関と連携を図り、柔軟な受け入れ体制の整備と職員のスキルアップに努める。

2 人材確保

- ・現任職員の定着及びキャリアアップを目指す。
- ・給与体系や資格取得のための支援など、人材育成に資する制度を整備する。
- ・勤務体系やコミュニケーションの円滑化など、働きやすい職場環境を維持する。
- ・多様な働き方により子育て世代や高齢者の働き手を確保する。
- ・ハローワーク、福祉人材バンクとの連携、民間の求人媒体の利用。

3 事業の経営

第一種社会福祉事業

- (1) 障害者支援施設 緑ヶ丘学園 生活介護（60人） 施設入所支援（50人）
- (2) 特別養護老人ホーム 福寿荘（50人）

第二種社会福祉事業

- (1) 緑ヶ丘学園短期入所事業（5人）
- (2) 特定相談支援事業所みどり
- (3) 福寿荘短期入所生活介護事業（20人）
- (4) 福寿荘通所介護事業（25人）日常生活支援総合事業通所型事業（10人）

公益事業

- (1) 緑ヶ丘学園日中一時支援事業（10人）
- (2) 福寿荘居宅介護支援事業

4 理事会・評議員会の開催計画

・理事会

- 5月 第1回理事会（令和4年度事業報告・決算報告、理事・監事の推薦 等）
- 6月 第2回理事会（理事長の互選）
- 11月 第3回理事会（令和5年度資金収支補正予算 等）
- 3月 第4回理事会（令和6年度事業計画・当初予算 等）

・評議員会

- 6月 定時評議員会（令和4年度事業報告・決算報告、理事・監事の選任 等）

5 施設整備等

- ・緑ヶ丘学園 利用者の生活環境の改善を考慮しながら老朽設備の改修を行う。
- ・福寿荘 移転改築に関する協議

6 施設整備資金借入金の償還計画

- ・借入先：独立行政法人福祉医療機構
- ・借入理由：緑ヶ丘学園移転改築に伴う諸経費等
- ・借入年月日：平成17年4月1日
- ・借入金額：204,700,000円
- ・令和5年度償還額（18回目）：元金 10,230,000円 利息 383,625円